

地域・保護者とともに考える学校づくり

令和8年（2026年）6月29日（月）

令和8年度 第1回学校運営協議会を開催しました

6月29日（月）、地域・保護者・大学・相談支援など多様な立場の委員の皆様と、今年度の学校経営方針や生徒の探究活動について意見を交わしました。

今年度の学校経営 — 4つの基本理念

こどもまんなか ・ 今を大切に ・ 学びを広げ ・ チームで応える

こどもまんなか

- ・ ウェルビーイングの視点から、子どもを学校を中心に置きます。

今を大切に

- ・ 授業の充実と教員の専門性を生かし、今しかできない学びを大切にします。

学びを広げる

- ・ 体験を目的化せず、振り返りや繰り返しを通して「学び」に転化します。

チームで応える

- ・ 目指す姿を共有し、教職員・保護者・地域・関係機関が組織として応えます。

今年度の重点

- 教育課程の見直し**
 - ・ 開校13年目の「リニューアル期（第2期）」として、教育活動の在り方を見直します。
- 教職員研修の充実**
 - ・ 教員の得意や専門性を生かし、互いに学び合う職員集団づくりを進めます。
- 働き方改革の推進**
 - ・ 校務DXや対話を通して、子どもと向き合い、授業を考える時間を生み出します。

委員の皆様からいただいた主な意見

「経験 → 振り返り → 判断」の学びを

自ら判断する力は、卒業後の社会参加や意思決定の基盤になる。



【金子副委員長】

「育ち合う職員集団」へ

心理的安全性を大切にし、若手とベテランが知識・技術を継承していくことが必要です。



【戸田委員長】

地域と学校がつながる防災を

地域の避難場所としての学校の役割や、地域住民との交流をさらに広げてほしい。



【小田島委員】

ICT・DXは「何のために」を大切に

効率化によって、教員が生徒の思いや気持ちを聴き、関わる時間を守ることが期待する。
スマホなど、柔軟なルールの検討を期待する。



【加藤委員】

いただいた意見を、今年度の学校づくりへ

生徒も、地域をよりよくする「当事者」として

- ・高等部各学科から、地域をテーマにした探究活動計画を発表。
- ・委員の皆様から具体的な助言をいただきました。



【代表生徒の様子】



【司会担当生徒の様子】

環境・流通サポート科／福祉サービス科／生産技術科

釧路を盛り上げ隊

- ・町内会館で高齢者との交流や清掃活動に取り組みます。

※発表者：福祉サービス科代表



【発表の様子】

情報ものづくり科

ベンチ修繕計画 Season 2

- ・先輩が製作・寄贈したバス停ベンチを再修繕します。

※発表者：情報ものづくり科代表



【発表の様子】

食品デザイン科

釧路の魅力を 知ってもらおう

- ・地域へのアンケートを基に、釧路の魅力をSNSで発信します。

※発表者：食品デザイン科代表



【発表の様子】

普通科

大災害に備えて、 1人1人がすべきこと

- ・災害事例や防災グッズ、避難所としての学校の役割などを調べます。

※発表者：普通科代表



【発表の様子】

今年度、4つの方向性で学校改善を進めます

1

子どもの声から学校をつくる

- ・「みんなでつくる学校会議」などを通して生徒の意見を学校改善へ。
- ・いじめ防止基本方針も、生徒に分かりやすい形への整備を進めます。

2

地域とともに学び、地域とともに備える

- ・地域交流や探究活動を充実させるとともに、「1日防災学校」では地域にも参加を呼び掛け、合同訓練を企画します。

3

教職員も「育ち合う」学校へ

- ・教員一人一人の得意や専門性を授業に生かし、研修や日常的な対話を通して、互いに学び合う組織づくりを進めます。

4

DXで「子どもと向き合う時間・余白」を生み出す

- ・年休・出退勤申請、情報共有、生成AI・ICT活用などを進め、効率化を子どもと向き合う時間や授業改善につなげます。

学校だけでつukらない。みんなでつくる学校へ

学校運営協議会でいただいた御意見を学校改善につなげながら、子ども・保護者・地域・関係機関・教職員が「大きなチーム」となって、子どもたちのよりよい学びと未来を支えていきます。

今後も、地域とともにある釧路鶴野支援学校を目指してまいります。



【公式Instagram】